

## 公益社団法人愛知県医師会 第38回(定例)理事会議事録

開催日時：平成29年3月30日(木) 午後2時30分～午後4時00分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

### 出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／横井 隆 城 義 政

理事／吉田 貴 伊藤 健一 加藤 雅通 大輪 芳裕 西山 朗

榎尾 富二 樋口 俊寛 伊藤 富士子 瀬瀬 雅明 細川 秀一

森 孝生 野田 正治 林 義久 羽生 田正行 浅井 清和

監事／可世木 成明 川上 雅正 野口 良樹

代議員会議長／伊藤 宣 夫

代議員会副議長／杉田 洋一 山本 楯

### 欠席者

副会長／市川 朝 洋

議事録作成者 加藤 結 花

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者24名(うち理事18名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

### 議 事

#### —承認事項—

#### 1. 庶務関係事項について

##### (1) 後援並びに共催について

①愛知県心身障害者コロニー(総長 安藤久實)主催の発達障害診療研修〔6/25(日)〕の後援について

榎尾理事より説明され、承認された。

##### (2)愛知県社会福祉審議会委員及び臨時委員候補者の推薦について

榎尾理事より説明され、資料のとおり6名を推薦することが承認された。

任期は、平成29年5月21日～平成31年5月20日まで。

### (3) 愛知県蟹江警察署を担当する産業医推薦の変更について

榎尾理事より説明され、第35回定例理事会(3/9)にて、橘 俊世先生の変更が承認されたが、諸事情により、引き続き、飯田 有二先生(飯田ファミリークリニック)を推薦することが承認された。

任期は平成29年4月1日～平成30年3月31日までの1年間。

### 2. 学校保健部会幹事会幹事の変更について

瀬瀬理事より説明され、名古屋市学校医会から推薦の幹事を、後藤正己幹事から松川武平幹事、愛知県小児科医会から推薦の幹事を松川武平幹事から江口秀史先生(名古屋市)へ変更することが承認された。

### 3. 学校保健部会学校健診委員会委員の変更について

瀬瀬理事より説明され、後藤正己先生(名古屋市医師会)から松川武平先生(名古屋市医師会)へ変更することが承認された。

### 4. 第50回若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会実行委員会委員の変更について

瀬瀬理事より説明され、後藤正己先生(名古屋市医師会)から松川武平先生(名古屋市医師会)へ変更することが承認された。

### 5. 医療安全対策委員会委員の変更について

森理事より説明され、承認された。

## —協議事項—

### 6. その他

## —報告事項—

### 【日本医師会、各医師会、中部医師会連合等会議について】

#### 1. 中部医師会連合第1回常任委員会懇談会〔3/25(土)〕について

(中部医師会連合主催：シェ・イノ)

柵木会長より、第139回日本医師会代議員会への対応について、中部ブロックは従来通り、代表質問、個人質問各1つずつ提出することとしたと報告された。

#### 2. 第139回日本医師会臨時代議員会〔3/26(日)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

柵木会長より、出席された役員も多々おり、また、メディアファクス等で既に周知のことであるので割愛すると発言された。

#### 3. 日本医師会病院委員会〔3/23(木)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

伊藤(健)理事より、第3回病院委員会では中川副会長より、ある委員会のために医政局の会議がすべて止まっている状態であるとの報告がなされ、ついで医療計画見直し等に関する検討会の報告が市川担当理事よりあったと報告された。また、地域医療構想会議の進めかた及び在宅に移行予定の30万床について議論された。その他、日医総研より地域医療連携法人についての期待と懸念について説明された。

一般病床における退院先等の状況については、退院後に通院による医療を受けた患者は、どの年齢階級でも約9割を占めているが、介護療養、医療療養を含め、在宅に移行できない患者についての存在が示されていないのは問題ではないかとの意見があった。平成29年度の地域医療構想調整会議の進め方についても、地域住民・市区町村・医療機関等に対する情報提供をすることに疑問視する声があった。また、4月～7月までにデータブックの配布をしようとしているが、難しいであろうとの声も上がっている。いずれにしても、スケジュール通りには進まないであろうと結ばれた。

#### 4. 全国医師会医療秘書学院連絡協議会平成28年度第2回常任委員会並びに第2回運営委員会〔3/25(土)〕について

(全国医師会医療秘書学院連絡協議会主催：ステーションコンファレンス東京)

樋口理事より、常任委員会が行われ、運営委員会が引き続き開催されたと報告された。常任委員会では、平成28年度の決算や今後のスケジュール等について協議され、決算の収入の部については、27年度までは1県につき250,000円の会費であったが、28年度は200,000円としたことが変更点であった。支出の部については、総会費が前年度より90万円の減額となっているため、会費をさらに減額してはいかかかという意見もあったが、総会の開催場所によることが原因であり、次

年度は例年並みとなるであろうことから会費の減額は見合わせたと説明された。運営委員会では、現在、全国で13県が医療秘書学院を運営しているが、今後は増設していく意向であり、その他、実技試験について、卒業後の就業について説明された。

#### 【本会関係会議について】

#### 5. 勤務医部会幹事会〔3/15(水)〕について

##### (803・804 会議室)

伊藤(健)理事より、樫尾理事が出席され、勤務医部会役員に対して研修医の医師会入会促進について協力をお願いしたいと依頼された。また、5月の日医勤務医担当理事連絡協議会に向けて、専門医制度について意見の募集を行った。フリーワークでは医師の長時間労働への対応等について議論し、各病院の現況を話し合い、今後の成り行きに注目していきたいと説明された。

#### 6. 産業保健部会幹事会〔3/24(金)〕について

##### (6 階研修室)

西山理事より、平成29年度認定産業医制度実施に伴う各種申請期間、平成29年10月～平成30年3月迄の研修会開催日程、嘱託産業医報酬基準(案)について報告された。日医及び労働安全機構は、嘱託産業医報酬基準を提示しない方針である。愛知県では会員の要望に応え協議したが、報酬額については継続審議となったと説明された。また、日医産業保健委員会及び平成28年度産業医研修会実施状況、産業医申請者数、傷害保険加入状況について資料により報告がなされ、歯科医師会の佐藤幹事より資料提供があった。その他、労働者のストレスに関するアンケート調査を実施したが回収率が悪く、再配付することとし、アンケートの結果で、50名以下の企業では、どのような内容で、どんなストレスがあるか等の統計を出すことを目的としていると説明された。

#### 7. 治験審査会〔3/24(金)〕について

##### (804 会議室)

樋口理事より、継続審査5件(双極I型障害1件、統合失調症3件、小児統合失調症1件)については、すべて承認されたと報告された。また、終了報告(アルコール依存症1件)が行われた。審査終了後、治験推進委員会にて、太田龍朗先生が委員長に選出され、副委員長は太田委員長に一任し、次回委員会で指名することとなったと報告された。

#### 8. 医療安全対策委員会〔3/21(火)〕について

##### (802～804 会議室)

森理事より、平成29年3月分委員会提出案件、23件(新規16件、解決7件)について検討したと報告された。また、医療事故調査制度における相談が1件、支援

要請が1件あり、外部委員2名を推薦したと報告された。

## 9. 病院の認知症対応力向上事業第7回認知症対応病院実地指導企画支援会議 〔3/23(木)〕について

### (9階大講堂)

野田理事より、平成25年度より実施している「病院の認知症対応力向上事業」にご協力いただいた医療機関(36病院-67名)に出席いただき、認知症対応病院実地指導事業における実施報告及び、各病院の取り組みについて本会議委員との情報交換を行い、認知症の患者、入院後に認知症が認められた患者等に対する対応について、急激な進歩がみられるとの報告があり、認知症に対応できる病院が愛知県は非常に多くなったことを実感したと説明された。

## 10. 講演会・研修会等について

瀬瀬理事より、難病に対しての関わり方、考え方、家族の寄り添い方についての講演後、グループディスカッションを行ったと説明された。

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
1	3/22(水)	平成28年度難病講演会	82名	樋口理事 細川理事

### 【行政、その他関係団体等会議について】

## 11. 愛知県地域医療支援センター運営委員会〔3/24(金)〕について

(愛知県主催：愛知県自治センター)

(柵木会長)

柵木会長より、平成29年度を期限とした医学部定員増の取扱いについては、21年度に定員増をした名大、名市大の地域枠が29年度で切れることに伴い検討したと報告された。行政としては、31年度までしていただきたいとのことで、存続することとなり、31年度以降については、今後検討することとなった。地域枠医学生の研修医マッチングに係る対応については、2年間の研修を終え、3年目に第1期生が入るが、学生の名称を専攻医とするのか、後期研修とするのか、専修医とするのか未だ定まっていない現状である。また、県内の公的医療機関、独法医療機関、大学病院は地域枠の義務年限が満たされるが、研修指定病院でもある私的病院での研修期間は地域枠の義務年限をこなしたことなくならず、採用した医師が2年で出て行くのであれば、マッチングの際に地域枠医師を除くと判断をする私的病院が出てくることを懸念し、支援センターとしては、マイナス要素と捉えず採用していただくよう文書にて依頼することが承認されたと説明された。

平成29年度医師派遣推進事業については、基金を使い支援センターが中心となって実施している事業であり、今後も継続していくことが承認されたと説明された。

この委員会は専門医のプログラムの承認という役割も担っており、次回の委員会で

議題に上がるであろうと結ばれた。

#### 1 2. 愛知県医療審議会 5 事業等推進部会 [3/23(木)] について

(愛知県主催：愛知県自治センター)

横井副会長より、医師派遣等推進事業に係る医師派遣について協議し承認されたほか、地域医療支援病院の実績状況については、県内全ての支援病院(19 病院)において要件が満たされていると判定された。平成 29 年度予算で主だった項目は、訪問看護に関する事業費の増額であるが、これは看護師の増強に充てられると説明された。その他、災害時リエゾン(周産期及び透析関係)、5 事業等における報告があったと説明された。

リエゾンとは、大規模な災害が発生したときに、搬送や治療が必要な妊産婦や乳幼児の情報を集め、被災地内外の医療機関につなげる調整役のことで、平成 28 年度より始まった厚労省の新規事業であると補足された。

#### 1 3. あいち健康の森健康科学総合センターのあり方検討会議 [3/27(月)] について

(愛知県主催：あいち健康の森健康科学総合センター)

城副会長より、2 回目の今回で終了となり、プラザの強みを活かした認知症対策に取り組み、認知症を中心としてプラザ継続の生き残りを図る施策であると説明された。見直しに向けた取り組み内容は、国立長寿医療研究センターとの『連携ラボ』の開設、『認知症予防教室の開催』『認知症予防リーダーの養成』等である。また、コスト縮減を図るため、アトリウム、プール、健康科学館は減築、リラクゼーションルーム、クッキングルーム、情報ライブラリーは廃止とすることとし、平成 34 年度を目標としてスケジュールが組まれている。しかし、10 年先を考えると、認知症に特化して良いのかとの意見もあったと説明された。

#### 1 4. 平成 29 年度看護功労者表彰選考会議 [3/22(水)] について

(愛知県主催：愛知県庁西庁舎)

大輪理事より、愛知県看護功労者表彰の受賞候補者を決定し、受賞者の発表は、5 月 12 日(金)に開催される平成 29 年度愛知県看護大会での表彰をもって行う予定であると報告された。なお、受賞候補者の内訳は、保健師が推薦者 6 名中 4 名、助産師が推薦者 5 名中 4 名、看護師が推薦者 38 名中 32 名(内准看護師 1 名含む)となっていると説明された。

#### 1 5. ナースセンター事業運営委員会 [3/24(金)] について

(愛知県主催：愛知県庁西庁舎)

大輪理事より、求人求職ともに相談件数は増加し、就職者は平成 28 年 4 月から 29 年 2 月までで 1,048 名となり目標の年間 1,200 名へ迫る勢いであったと報告された。来年度は、就職者数 1,400 名を目標とし、退職届け提出者への働きかけや医師会、労働局とのタイアップした出張相談をさらに広げていくとのことであっ

た。協議では、大病院では看護師が充足し、奨学金生も就職ができない事例が報告された。

柵木会長より、就職者増加の要因を質問され、大輪理事より、ハローワークとのタイアップ及び退職届を提出された方に対し、ナースセンターよりの働きかけが大きな要因であると応えられた。

報告 16 番、17 番については関連であるとされ、大輪理事より一括報告がなされた。

**1 6. 平成 28 年度愛知県訪問看護ステーション協議会臨時理事会 [3/25(土)] について**

(愛知県訪問看護ステーション協議会主催：愛知県看護協会)

**1 7. 平成 28 年度愛知県訪問看護ステーション協議会臨時総会 [3/25(土)] について**

(愛知県訪問看護ステーション協議会主催：愛知県看護協会)  
3 年前の設立当初は任意団体であったが、社会的な認可を得るため法人化への強い希望があり、法人化する運びとなった。法人化するにあたり、「一般社団法人愛知県訪問看護ステーション協議会」定款(案)及び細則(案)について、理事会で承認後、さらに総会で承認を得た。総会では、法人化後の新役員の選任を行い、承認された。登記は、平成 29 年 4 月 3 日(月)に行うと説明された。

**1 8. 愛知県介護支援専門員支援会議 [3/27(月)] について**

(愛知県主催：愛知県自治センター)

野田理事より、新カリキュラムでのケアマネ研修・主任ケアマネ研修ともに時間数の増加により日程が過密で、講師の負担や参加者の負担が増えたと報告された。ケアマネ資格取得に必要である実務研修の受講者が減少したのは、実務研修受講試験の合格者数が低下したことも原因である。また、実習費用は標準額が示されているが 1 万円から 4,500 円と幅があり、ケアマネが実習先を指定されるため金額で選べない現実がある。その他、「仕事と介護支援専門員の両立支援導入マニュアル」を研修に使用することとしたと説明された。

**【病診連携・地域医療支援病院関係会議について】**

**1 9. 名古屋第二赤十字病院 地域医療支援病院運営委員会 [3/27(月)] について**

(名古屋第二赤十字病院主催：名古屋第二赤十字病院)

大輪理事より、第 3 四半期の紹介初診数/診療情報提供数は 8,623 件/6,701 件で前年度よりやや減少したと報告された。紹介率/逆紹介率は 100.5%/78.1%で前年度より上昇し、紹介数 30 件以上が 73 施設あった。救急患者数 9,865 人、救急車搬送患者数 2,965 人、救急入院患者数 3,053 人で前年度より増加し、一方、1 日平均外来患者数 1871.2 人、1 日平均入院患者数 724.5 人でともに減少した。また、開設から 1 年を経過した性暴力救援センターなごみについても愛知県内では、

この名古屋第二赤十字病院と、大雄会第一病院の2ヶ所であると前置きされ、現状を説明された。

## 20. 名城病院地域医療支援及び研修協議会〔3/24(金)〕について

(名城病院主催：名城病院)

森理事より、平成28年4月～平成29年2月までの実績について報告された。紹介率：74.6%、逆紹介率：51.5%、救急車搬送件数：2,721件であった。また、医療機器の共同利用件数について説明された。その他、名古屋市医師会中区在宅医療・介護連携支援センターのソーシャルワーカーの杉戸氏より、当該センターと後方支援病院等の連携について説明があったと報告された。

柵木会長より、病診連携・地域医療支援病院関係会議の報告については、まとめて月1回、最終理事会にて報告することとすると発言された。

### 【その他事項について】

#### 21. その他

##### ・愛知県医師会史7巻の原稿締切について

瀧瀬理事より、原稿の締切日は3月31日までとなっているので、ご協力をお願いしたいと依頼された。

##### ・理事会議題提出期限について

野田理事より、現在、理事会の議題は正副会議の前日までの開催分を報告することとなっているが、前日の会議が夜であった場合等、翌日までに報告をまとめることが困難な場合がある。できれば若干の猶予をいただきたいと要望され、柵木会長は了承された。

##### ・都道府県医師会長協議会提出議題について

柵木会長より、平成29年度第1回都道府県医師会長協議会が5月16日に開催される。従来と異なり、今回は2つの議題「専門医制度」「地域医療構想(第7次医療計画)」に関連する協議事項を提出する形式となった。愛知県は専門医制度について質問することとしたいので、宜しくお願ひしたいと担当の伊藤(健)理事に依頼された。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成29年3月30日